



『フラッシュアップ！消費者市民力』

キックオフ集会 開催報告



開催日時：2014年7月16日(水)
10:00~12:30
開催場所：東京都生協連会館3F
参加実績：合計 49人
大田区10人 三鷹市7人 町田市9人
行政9人 連絡会メンバー等14人
主催：東京都生協連消費者行政連絡会

◆プログラム◆

- 10:00~10:10 東京都と東京都生協連の協働事業について
東京都生協連 那須 淑夫
- 10:10~10:45 2013年度の取り組み報告
八王子市消費生活センター長 山崎 寿子さん
豊島区副実行委員長
TOKYO 充実ねっと(弁護士) 釜井 英法さん
- 10:45~10:55 2014年度の取り組みの進め方について
東京都生協連 那須 淑夫
- 10:55~11:00 質疑応答
- 11:00~11:10 休憩
- 11:10~12:15 グループワーク
- 12:15~12:25 グループ発表
- 12:25~12:30 事務局連絡 閉会



司会 東都生協理事
奥山佐和子さん

東京都と東京都生協連の協働事業について



東京都生協連
那須 淑夫

今年で6年目をむかえる協働事業の取り組みは、消費者庁が設立された平成21年から東京都と東京都生協連とが協定を結び、地方消費者行政活性化基金を活用してすすめてきました。事業の中身は年度ごとにさまざま、6つの地域生協の広報誌や商品案内チラシの裏面を使っ

ての消費者問題関連の情報提供や啓発、シンポジウムや講演会の開催、若者向けにリスク回避ハンドブックやブックカバーなどの啓発グッズの作成、また、現在も東京都生協連のホームページで継続しているeラーニングの作成などを行ってきました。昨年は消費者教育推進法の策定を受け、その中で謳われている「消費者市民社会」を考える集いとして、東京都のアクションプランに沿った内容で地域3か所、大学2か所で高齢者や若者を対象とした消費者被害防止の講演会等を開催しました。今年度も東京都と8月中には協定を結びます。自分たちの持つ知識をさらに磨いて消費者市民としてその力を活かし、地域で連携しながら「フラッシュアップ！消費者市民力」を共通の名称として取り組みをすすめましょう。

平成26年度 地域会場：大田区・三鷹市・町田市 大学生対象：立教大学・東京家政学院大学

2013年度の取り組み報告 in 八王子市



昨年のin 八王子市の取り組み概要と経緯、今年度取り組みをすすめるにあたって、開催することの意義や留意点、などを実際に事業に取り組んだ立場からお話しして頂きました。

《事業に取り組む意義》

- ・自治体や地域の持っている力、東京都生協連の持っている力を合わせることでそれぞれ単体では出来ない取り組みが実現できる。経験はその後の自治体の力となり、これをきっかけに地域での連携が強まる。
- ・八王子市では、一緒に取り組みをすすめた地域支援包括支援センター高尾さんとのつながりから、その後、民生委員さん、お医者さん、保健士さんにつながるなど少しずつだが連携が広がっている。



八王子市消費生活
センター長
山崎 寿子さん

《留意点》

- ・チラシ配布や市報、区報だけでは人は集まらないこともある。八王子市では、町会自治会連合会、老人クラブの連合会、地域包括支援センターにアポを取って実際に合って話をさせてもらい、再度チラシ配布のお願いと消費生活センターのPRをさせて頂いた。
- ・パネルディスカッションを計画し、コーディネーターを実行委員以外にお願いする場合は、当日の打ち合わせだけではなく、事前にも打ち合わせをすることが必要。会場からの質問時間を取る場合は、質問が出なかったらどうするか、パネリストに振るのであればどんなことを話してもらうかなど決めておくとうい。

2013年度の取り組み報告 in 豊島区



TOKYO 充実ねっと
弁護士
釜井 英法さん

in 豊島区の副委員長という立場から、実施前の企画段階から関わってきた経緯や取り組みの概要、工夫した点や、事業を終えて感じた今後に向けての課題などをお話頂きました。

《工夫した点》

短い時間の中で講演、寸劇、パネルディスカッションと盛りだくさんのプログラムだったが、パネルディスカッションの構成を工夫した。本来ならパネリストからの発言で組み立てをして深めていくが、今回は地域の活動を知り合うことに重きを置き、会場からも団体の活動報告の発言を頂き、コーディネーターがつなぐことで、一体感のある企画となった。

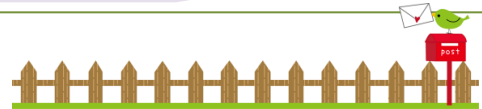
《今後に向けて》

高齢者を視点として考えたら、消費生活センターだけでなく、福祉の視点も入れたいところではあったが、行政にとっては、この事業の取り組みは年度途中からの取り組みなので横の連携は難しい。今年度取り組みところは、社協や地域支援包括支援センターなどとの連携で広がりができると思う。豊島区もせっかくできたつながりを活かして今年度も事業に取り組み予定だったが、所長の異動で連続の開催は断念したが、今の所長が落ち着いたらまた考えたい。

《今年度のテーマ「ブラッシュアップ！消費者市民力」について》

消費者市民力をブラッシュアップするということは、各人が知識をアップデートするだけではなく、他の人とつながる意識を持つこと、そして実際につながっていくことが出来る力を磨くこと

地域ごとのグループワーク



大田区3G、三鷹市2G、町田市2Gの7つのグループに分かれてどんな内容にしたいかや実際の開催形式、また昨年苦労した参加を増やすにはどうしたらいいかなどを話し合い、自分の住む地域での事業のイメージを共有しました。

●大田区 行きたくなるタイトルをつけて高齢者本人や地元根付いた人、広げていける人を呼びたい。

基調講演・・・講師はネームバリューのある方 区内で相談件数の多いものをテーマにする。

寸劇・・・消団連メンバーと大田区職員による寸劇

パネルディスカッション・・・地域で活動されている方、福祉課、警察署、商店街連合会の方。

大田区の現状報告・体験報告・グループワーク・井戸端会議など。

開催希望月・・・1月後半から2月 土日PM

●三鷹市 警察の実録テープや歌、みらいのコンサートの場で企画し、高齢者本人や支える方、広げることができるような企画にしたい。

講演会・・・相談員、警察の方を呼び、身近な地域の事例や防止策を聞く。

ワールドカフェ・・・実際に体験した話や防止策の共有。

参加型ゲーム・・・杉並区で行った広重さんのゲームをやる。

寸劇・電子紙芝居・体験談など

開催希望月・・・2月以降 平日AM 土日PM

●町田市 気楽で楽しく！一方的に情報を伝えるのではなく、交流の場にもしたい。

パネルディスカッション風リレー報告・・・相談員、社協、消費者など

グループワーク・・・体験談や対処法を考えあう。

リレー報告・・・警察、相談員、高齢者支援センターなどから被害に合う前の知識や対処法、現状を知る。

寸劇+O×ゲーム（プレゼント付き）ある日の相談室・出前寄席・落語

開催希望月・・・1月後半

昨年はこの形式の協働事業の取り組みは初めてであったことから、事業内容についての説明や実行委員会メンバーの選出は、開催地域ごとに行うなどそれぞれに対応をすすめてきました。今年度は昨年の開催地域の実行委員から出た意見や事務局の振り返りから、一同会してのキックオフからのスタートとしました。

実行委員の選出も、本人の意思を尊重できるように、アンケートに実行委員会参加の意向を聞く欄を設け、参加表明をしていただきました。実行委員の確定後、各開催地域で第1回実行委員会を開催し、今回の話し合いをもとに今年度の事業内容を決めていきます。